

趣意書

世界の人々が COVID-19 と戦い続けています。1 日も早い平和な社会となりますようにお祈り致します。私たち理学療法士は感染予防を厳として「3 密」の環境下で最大限の緊張感をもって仕事をしています。日本理学療法士協会、各分科学会が連携してリアルタイムな情報を発信されていますことに深謝申し上げます。また、本集会の延期により 1 年繰り越しに寛大なご理解を頂きました鹿児島予防集会の皆様「敬天愛人」として享け賜わり深く感謝申し上げます山形予防集会で協働できる場面も考えております。

さて、本集会のテーマは「多角的な立ち位置からの思いと共に歩む予防理学療法の未来」といたします。人生 100 年時代にあり感染症と向き合う運命の中で、理学療法士である私たちは今まで以上に健康を意識して、「どう生きていくか」自身に深く問いかけなければなりません。同時にプロとして予防理学療法を国民に広く深く啓蒙しながら、人生と共にある大事なものとして分かりやすくお伝えする義務があります。だからこそ、日本予防理学療法学会の会員には、科学的追求と専門性をもって学問の体系化を図っていただく必要があります。シンポジウムⅠ:予防理学療法の未来を支える刷新的提言「即時効果を体感できる意味」では、関連分野の先端研究と予防を結びつけた企画としました。「Stay home」の経験が加味されます。シンポジウムⅡ:「日本理学療法士協会と日本予防理学療法学会へ期待するもの、市民連携で取り組む健康で文化的な生活と共にある予防理学療法では、「天変地異」も伴って急激に変遷する日本社会で、今だからこそやらなければならないこととして予防を担う専門職に考えて頂く企画としています。「社会的弱者を形成しないこと」が加味されます。本集会テーマ神髄として、大淵修一先生により「笑顔で百歳生きたいを叶える・国民と共にある予防理学療法学」の展開について導入を行います。ナイトセミナーは「Stay home は予防理学療法に何を問いかけたか」と題し、制作ビデオを見ながら考える場とし予防運営幹事の皆様からの助言も予定しております。司会は備酒伸彦先生です。ポスター発表は予防に関与する一般演題を広い分野から 40 題募集致します。市民公開講座は 4 部構成となります。初日にはランチョンセミナーを企画しています。集会は全て事前収録し Web 配信も付帯いたしますので、シンポジウムや演題発表の諸先生にはご理解とご協力をお願い申し上げます。感染症や天変地異など不測の事態により齎される健康不良に対して迅速な初期対応が重要です。COVID-19 の終息と共に心身の健康被害が惹起する可能性があり、縦と横の予防理学療法ネットワークを凜として本学術集会を迎えたく考えます。予防を志とするプロ集団と会場となるホテルと旅行会社が叡智を絞って不測の事態に備えます。徹底した感染予防・フィジカルディスタンスを行いながらも、多職種による社会的交流と鶴岡市ならではの悠久の文化を満喫して頂く準備を惜しみません。今こそ「連携」と「笑顔をあきらめない」社会づくりに貢献致しましょう。そして、世界平和を祈りながら、それぞれの思いを込めて東京オリンピック開催を応援しましょう。